

これは全く私の「勘」ですが11月初めブッシュ大統領の再選が決まると同時に、各経済紙は一斉に「商社、大企業の大型投資」が活発化して、千葉県内でも企業進出のために工場、商業用地の取得が昨年の二倍になったと大きな活字で報じられました。

インターネットによる「不動産オークション」でも対前年比四倍の需要がおきているそうです。

これらの情報を裏付けるように君津、木更津地区へも大手流通業者が1万坪単位で商業地の物色を始めております。先だって、ある会議の中でも請西・真舟周辺では住宅用地は売り切れて需要が賄えないと住宅販売業者が嘆いておりました。

一方かねがね話題となっておりました新日鐵所有の木更津南部工業専用地域の転用開発「クローバープラン」が動き出しております。

この計画は、商業用地7万5千坪、アミューズメントセンター1万2千坪を合わせて8万7千坪という、全国にも例の少ない巨大な開発計画であります。気になる集客力はと聞きますと、アクアラインを越えて8百万人から1千万人を見込んでいるとの答えでした。

現在、千葉ニュータウン(印西市等)に開店したジョイフル本田が4万㎡、隣接して白井市にジャスコがあり、メガマックスが開店すると、年間1千万人を超える流入人口が見込まれると山崎市長は話しておられました。このように大きな開発がおこなわれることにより地域の集客力が高まることは確認できますが、私達のかずさ地域については、自分達の目でよく見極めてからクローバープランに対応したいものです。

何れにしても大店法のなくなった今日、君津・木更津の商業界の「生か死か」「繁栄か滅亡か」をかけた正念場を迎える時期になりそうです。この様な流通業界の活発な動きに合わせ、この1～2年で景気は間違いなく大きく上向くと確信しています。

私達はこのような時代の流れをいち早く捉え、「流れに竿をさす」「智恵と先見性」を今こそ発揮すべきといえます。

今まで何度か「会頭コメント」で提案いたして参りましたが、圏央道も着々とすすんでおり、館山道と接続する木更津JCTと国道410号(房総縦貫道)と連絡する木更津ICがあります。圏央道からの流れを合わせた国道410号は小櫃、上総、清和を抜けて丸山町へ一直線に進み410号館山、鴨川道路へと合流します。まったくの「勘」ですが、館山道より便利で経済的(無料)ですから、現地の人達の想像を超える大動脈のなるのではないかと思います。

どうか一度、志しある仲間達と試走し確かめて見てください!

このビジネスチャンスを前向きに捉え、ミニ株式会社等を設立するなどして、ロードサイドニュータウン移動を早めないと、この地の人たちが最も嫌う「ヨソ者達」に漁夫の利を得られてしまいます!

今、奪起すべき時である事を申し上げたいと思います。